



ある日突然最愛の娘を奪われて

～犯罪がその後にもたらすもの～



「事件というのは何の前触れもなく突然やってきて、平和で幸せな家庭を壊してしまうのです。回復することのない傷を心に負わせられ、遺された家族さえもバラバラにされてしまうのです・・・。」



鈴木和子さんの長女、幸子さんは大学の同級生にストーカー行為を受け、殺害されました。幸子さんを亡くしたことだけでも、耐えきれないほど苦しんだご家族をさらに傷つけたのは、事件後における周囲の人々の様々な態度や反応でした。

犯罪被害によって大切な家族を失った方の喪失感、孤独感、不信感
は計りしれません。あなたも、気づかないうちに誰かを傷つけていませんか？

取材協力 山内久子 秋田看護福祉大学教授
社団法人あおもり被害者支援センター副理事長
長井 進 常磐大学大学院被害者学研究科教授
社団法人いばらき被害者支援センター理事

企画・監修 内閣府犯罪被害者等施策推進室
制作 (株)日テレアックスオン

平成20年度制作

この映像は、内閣府ホームページでもご覧いただけます。

内閣府HP：<http://www8.cao.go.jp/hanzai/index.html>

内閣府犯罪被害者等施策推進室 (TEL：03-3581-1162)